

## 審査結果報告書

平成 29 年 1 月 16 日

主 査 氏 名

赤 星 透



副 査 氏 名

久 内 康 雄



副 査 氏 名

狩 野 有 作



副 査 氏 名

日 高 央



1. 申請者氏名 : 和田 達彦

2. 論文テーマ : Liver damage in patients with polymyositis and dermatomyositis  
(多発性筋炎・皮膚筋炎患者での肝障害について)

3. 論文審査結果 :

多発性筋炎 (PM) / 皮膚筋炎 (DM) は、四肢近位筋の筋力低下を主症状とし、筋原性酵素の上昇と筋組織へのリンパ球浸潤を呈する原因不明の炎症性筋疾患である。PM/DM 症例において、CK 上昇に伴って AST が ALT よりも上昇する一方で、ALT が不均衡に上昇している症例が認められたことから、本論文では PM/DM における肝障害の有無に関する臨床的検討を行っている。

本論文では、明らかな肝疾患を除いた PM/DM の新規入院患者 36 名と運動による CK 上昇をきたした対照患者 8 名について、血清 CK 値、AST 値、ALT 値、AST/CK 比、ALT/CK 比、AST/ALT 比について検討を行ったところ、疾患群の AST/ALT 比は対照群と比較して有意に低下し、ALT 値が不均衡に上昇していることを証明した。PM/DM 患者の肝組織に CD8 陽性 T 細胞の浸潤が認められるとの報告もあることから、筋組織と同様に肝組織においても T 細胞浸潤に伴う組織障害が存在する可能性を提示している。

審査においては、他の肝障害マーカーの変動、治療薬との関連性、皮膚の病理所見との関連性、肝生検の必要性、他の対照疾患に関する論議などが活発に行われた。本論文は、PM/DM 患者の肝機能障害について臨床的な検討を行い、新たな知見を提示していることから、学位論文に相応しい優れた論文であると審査員全員が一致した。